



すまいる



いよいよ盛夏の季節となりました。保護者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。夏休みもまちかです。子どもと過ごす時間が、増えるよい機会です。そこで、今回は、子どもと触れ合うなかで、やる気を引き出す声かけの仕方についてご紹介します。



結果ではなく、過程を褒めよう！
認めよう！！

「夏休み、家のお手伝いをがんばるぞ！」と、はりきっている子どもたち。風呂掃除、皿ならべ、くつならべ...など、子どもが家族の一員として、手伝いをするのは大切な経験です。せっかくだから、やる気の出る一言をかけたくださいね。



例えば、「お風呂掃除したよ～」と手伝いをした子ども。終わったところを覗いて見ると、まだ汚れが残っていたり、道具も片づけていなかったり



NG!

あーもう！
これやったら、お母さんがしたほうが早いわ。
もうせんでいいから、宿題ばせんね！！

これでは、子どもはせっかく張り切ってやったのに「手伝いをしよう」という気持ちは認めてもらえず、しぼんでしまいます。



OK!

お手伝いしてくれて、とっても助かった～。
次もまた、おねがいできるかな？

※まず、子どもの気持ちを認め、その後、洗い方や片付け方を教えてあげる。

風呂掃除の**結果**ではなくて、「掃除をしよう」と取り組んだ**過程**を認めるような声掛けをすることで、子どもたちのやる気は伸びます。



教育相談について

本校には、保護者の皆様の子育てに関する様々なお悩みを、一緒に考えていく教育相談というものがあります。学習面、生活面で困られていますか？、まずは、学校に来て一緒に考えましょう。学級担任や特別支援教育コーディネーターが対応します。夏休み中でも受け付けます。申し込みは、学級担任へか、直接学校へ連絡をどうぞ！



子どもたちのより良い育ちを、
学校・家庭・地域でサポートしていきましょう。

“みんなちがって みんないい” ※出典「私と小鳥と鈴と」 金子みすゞ